■介護支援ボランティアセミナー2020 開催レポート■

日　　時：令和 2 年 2 月 14 日（金）　13：30～16：00
場　　所：北杜市役所　北館　3 階大会議室
参加人数：56 名

令和 2 年 2 月 14 日、ボランティアと施設、そしてボランティアに関心のある方が集まり、今後も有意義な活動が進められるよう、山梨県立大学人間福祉学部の高木寛之先生をファシリテーターに迎え、4 回目となる介護支援ボランティアセミナー2020 を開催しました。

当日は、ボランティア、受入施設職員など 56 名が参加し、2 部構成で行われました。

まず、日頃活動をしているボランティアの方、受入をしてくれている施設の方の日頃感じている疑問やモヤモヤを高木先生に聞いてみました。10 個の質問が高木先生に寄せられましたが、一つ一つ丁寧に答えていただきました。その後グループで自身のボランティア活動について、生きがい図をもちいて振り返りました。人それぞれ、自分の中でのボランティアの位置づけは違いますが、みんなで共有し、理解しあい、「以前からの友達のようだね」と自分の気持ちを話すことができました。

テーマ

①自分にとっての生きがいとは？ボランティア活動とは？を考える

参加者の多くの方が自分のボランティア活動を振り返ることができた会となりました。

高木先生の話の中で、「ボランティアは、社会に開かれているかどうか。」「恋するように、ボランティア」ボランティアは恋と同じ。愚痴って、許して、信じることができるか。等の話が、参加者の皆さんの心に響いたようです。

参加者からは「今日は改めて、ボランティア活動を客観的にみることができ大変良かったです。」「ボランティアの仲間のつながりができ、話し合えることが生きがいになって、元気でいられます。」「自分自身が気持ちよくなり、前向きになりました。」等の声が聞かれました。

今回のセミナーでは、ボランティア活動や生きがいについて深く考える機会となりました。また、皆で話し合うことで力をもらい、前向きにボランティア活動を行う気持ちになれたようです。